

卒業生に贈る言葉

卒業または修了、おめでとう。諸君らのこれまでの努力と情熱に心からの敬意を表するとともに夢ひろがるこれからの船出に大いなる讃歌と応援のエールを贈ります。

香川大学での在学期間を長かったと感じる人は少なく、ほとんどの人が短かったと感じていることでしょう。その間、辛かったことや苦しかったこともあったでしょうが、振り返ってみると楽しかったことや役に立ったことを思い出すのがふつうです。それらの思い出の多くに人との出会いがあります。入学当初のクラスでの出会いに始まり、サークルやアルバイト、研究室、ゼミなどで数多くの出会いがあります。その対象は同級生であったり、先輩や後輩、社会人、先生であったはずですが、その中には、直感的に気の合うと思う人もいれば、そうでない人もいます。少し付き合ってみてそのよさが分かる人もいれば、やっぱり気の合わない人もいます。生涯の友と思える人や人生の師と思える人との出会いもあります。出会いはその人の人間形成に大きな影響を与えらると思われまます。

私自身の10代から20代を振り返ってみても、多くの人との出会いがありました。生涯の友とも出会い、友情と交流は今も続いています。一方では、短期間の付き合いでその後長続きしなかったり、正直なところ気の合わなかった人たちもたくさんいました。社会生活の中では、考え方の違う人や気の合わない人との交流も大切にならなければならないこともしばしばです。そんな時、私はできる限り人の長所を見てそこから何かを得ようと心がけています。人の欠点を見ても私自身の成長に役立たないと知ったからです。確実に実行できているかと私に聞かないでください。ただ、心がけているのは確かです。

実際に役立つ専門的知識と人間としての総合力を実社会のなかで自分自身の努力で向上させなければなりません。人格を含む人間としての総合力の多くは人との出会いの中で養成されるものです。よりよい出会いがあり、その出会いからできる限り学習し、人間性があふれ、豊かな総合力をもつ人格に成長することを祈念しています。



人の長所を自分に活かす

学長 一井 眞比古